

小規模校を存続する山県学園構想に関する事業

1. 地域の課題

少子化・人口減少により、山県市も学校が統廃校化の危機にあります。小規模校を地域の大切な学びの場として存続させるという考えのもと、統廃合ではなく、小規模学校を活かし、地域に根ざした教育環境を守ることで、山県市の持続可能な発展を実現しようとしています。

2. 寄附金の使い道

本事業では、少人数指導による個別最適化した学習、市内校間の合同授業による多様な学び、地域企業・住民との連携プログラムの充実を進めます。加えて、大学・民間企業との連携による教職員の専門性確保と、児童生徒・教職員のウェルビーイング向上に取り組みます。これにより、子どもたちが地域に誇りを持ち、未来を主体的に切り拓ける環境を実現します。

3. 寄附募集金額

13,248千円

4. 企業様のメリット

本構想を支援することで、地域の未来を担う人材育成への貢献が実現できます。さらに、地域に根ざした企業として認識されることで、ブランド価値向上と地域との信頼構築にもつながります。さらには、企業版ふるさと納税の税制優遇も受けられ、社会的責任と経営戦略を両立させることができます。



地域住民と連携した授業



教育ウェルビーイング向上の会議